

同窓会だより

関西司法界で活躍する 真和OB弁護士

弁護士をめぐりして 久保田 昇(6期生)



市立大学法学部に入学しました(同大学には真和高校から初めての入学生となりました)。大阪府立大学は、熊本では全くの無名高校でした。同大学を選んだ理由は、当時合格率が2%の狭き門であった司法試験に合格者を出していたからでした。

私は、昭和四十四年熊本市立藤園中学校から、真和高校の六期生として入学しました。担任の先生は昨年お亡くなりになりました山崎先生でした。同先生は在学中の三年間本にお世話となり、現在にいたるも感謝して、います。

当時、高校の二学年は三クラス九十名余りの男子校でした。当時から新設の進学校として注目されていました。私が、まだ歴史の浅い若々しい学校でした。私は、自宅のある上熊本から自転車通学をしていました。早朝の課外に備えて朝早いうちに自宅を出ました。私は、昭和四十七年に大阪

不合格となりました。そこから、毎日八時間の勉強を開始し、翌年の昭和五十二年に第一回の短答試験は合格しましたが、第二次の論文試験で不合格になりました。

市立大学法学部に入学しました(同大学には真和高校から初めての入学生となりました)。大阪府立大学は、熊本では全くの無名高校でした。同大学を選んだ理由は、当時合格率が2%の狭き門であった司法試験に合格者を出していたからでした。

その後、昭和六十三年に自分の法律事務所を設立し、現在に至っています。

現在、真和高校同窓会の関西支部事務局として同窓会のお手伝いをしています。毎年十二月に、関西の大学に入学してきた後輩の歓迎会を行っています。関西の大学に入学してきた後輩の方々は、この連絡を頂きたいという方々は、是非出席いただければ幸いです。

昭和五十一年に初めて司法試験を受けましたが、当然のことながら一次の短答試験で

世界で活躍する真和OB アフリカ事情

在工チオピア日本大使館 一等書記官 森本 真樹(23期生)



シブチ大統領補佐官と食糧援助について会談中(写真真)

(一)独立から統合へ
一九六〇年の「アフリカの年」を中心に、暗黒大陸と呼ばれたアフリカは独立を果たしました。そして、独立後のアフリカの地位向上を目指し、一九六三年にアフリカ統一機構(OAU)がエチオピアのアジスアベバに創設されました。二十一世紀になり、アフリカは多くの困難を抱えています。

アフリカという巨大な大陸は、五十三の国と八億を超える人口、それに豊富な地下資源があります。アフリカは、搾取された過去を克服

アフリカという巨大な大陸は、五十三の国と八億を超える人口、それに豊富な地下資源があります。アフリカは、搾取された過去を克服

なりません。これを「紛争管理」と呼びます。反政府ゲリラに参加した傭兵を地域社会に再統合し、彼らの自立を支援することも重要で

アフリカは多くの困難を抱えています。アフリカは多くの困難を抱えています。

アフリカは多くの困難を抱えています。アフリカは多くの困難を抱えています。

アフリカは多くの困難を抱えています。アフリカは多くの困難を抱えています。

「心に強さを」

真和中学・高等学校校友会会長 馬場 成志



真和中学・高校の生徒の皆さん、保護者の皆様方

真和中学・高校の生徒の皆さん、保護者の皆様方、入学、進級、誠におめでとうございます。希望に満ちた生徒達が充分に力を発揮出来る年となる様お祈りします。特に新入生の皆さんには、早く学校生活に慣れ

昨頂ける様願っております。昨年まで景気は回復帰調でありましたが、ご存知のとおり現在の現状で、各家庭におかれましては様々な状況の変化があつたことと推察致します。景気対策は国内、国外を問わず最大の課題となつて

踏ん張る力、窮地に陥った時に立ち上がる精神力、或いは思い切った進路変更を出来る判断力であるとか、どれも当然のことですが常に心を養つておこななければ、突然心を失ふを免れず、これは難しいことです。そういった力を

育友会の活動は、内にあつては学校行事などのサポート、対外的には私学教育環境の充実など様々な力を合わせて遂行しながら、生徒や学校との交わりの中で

育友会の活動は、内にあつては学校行事などのサポート、対外的には私学教育環境の充実など様々な力を合わせて遂行しながら、生徒や学校との交わりの中で

クラス・同好会紹介

【文化部】

- 宗楽部(飛本)
- 文芸部(北本)
- 写真部(宮本)
- コーラス部
- (元田)菩提
- オーケストラ部
- 演劇部(赤山)
- (歌)河原野口
- 吹奏楽部(日野)

【体育部】

- 軟式野球部(國武)都田
- 空手部(小森)
- 剣道部(松本)
- サッカー部
- ハンドボール部(天村)安部
- 女子柔道部(吉里)
- 弓道部(野田)松永(緒方)
- バスケ部(高本)高尾
- バドミントン部(西立)山内
- 卓球部(中島)影山

【その他】

- 学園吹奏楽部
- 熊本県吹奏楽コンクールAパート 銀賞
- 【同好会】
- 化学同好会(野田)
- イラスト同好会
- (福間)
- 囲碁将棋同好会
- EBS同好会(北野)
- オハラ同好会(中島)
- パソコン同好会
- (長坂)
- バレーボール同好会
- (森)
- 硬式野球同好会(桑田)
- 時事問題研究会(川野)

【生徒会長】 松下 祥大(11)②

【副会長】 杉山 豊(11)③

【代議員】 坂西 冬加(11)① 家本 京子(11)② 岩本 弥羽(11)② 小山 田綾華(11)⑤ 嶋田 真梨乃(11)⑤ 松田 英敏(11)⑥

【バドミントン部】

【剣道部】

【ハンドボール部】

【サッカー部】

略 歴

森本真樹(もりもとまさき)

- 昭和63年(1988) 真和高校卒業
- 平成 4年(1992) 慶応大学法学部法律学科卒業
大学4年在学中に最難関の外交官試験に合格
- 平成 4年(1992) 外務省入省
- 平成 5年(1993) 外交官補としてフランス留学
- 平成 7年(1995) 在コートジボワール日本大使館勤務三等書記官
- 平成 9年(1997) 帰国後経済局政策課配属
(G8サミットなどの経済外交の総合的な調整を行うところ)にフランス日本大使館二等書記官
- 平成 14年(2002) 在フランス日本大使館二等書記官
- 平成 15年(2003) 在エチオピア日本大使館一等書記官
- 平成 21年(2009)4月 外務省帰省